

## 撤兵要求の継続と署名のお願い

悲しいことに、香田証生さんは31日未明（日本時間）に惨殺死体で発見されました。この直接の原因は、小泉首相の「自衛隊をイラクから撤退する考えはない」「テロに屈することはできない」（27日）という無思慮で冷酷な発言にあります。以下の声明にあるような発言をしていれば、このような悲劇的結末を迎えることはなかったかもしれません。

イラク派兵への反対論が指摘してきた通りに、遂に日本人の犠牲者が出てしまいました。同じような悲劇は続いて起こる可能性があります。香田さんに続いて、次の犠牲者を出してはなりません。人命の犠牲が出てしまった以上、その根本的な原因は派兵にあることが改めて問題とされ、首相の責任を問い、撤兵を可能な限り速やかに実現しなければなりません。私達は、香田さんの冥福を祈ると共に、その悲劇を無駄にしないために、撤兵が実現するまで撤兵要求を継続し、追悼の意を込めて署名を集めます。イラク撤兵を願う方は、是非署名して下さるようお願い申し上げます。

11月1日

緊急声明：邦人誘拐事件に際しての撤兵要求

日本政府にイラク撤兵を検討するように緊急に要求します。政党や政治家には、イラク撤兵を強く求めるように要望します。また、マスコミにも、この要求を意識した報道を要望します。

地球平和公共ネットワークは、イラク非戦声明・包括的非戦声明を公表し、イラク派兵に反対してきました。派兵は決定的違憲である上に、現在のイラクは「非戦闘地域」とは言えないので、イラク特措法にすら反しているからです。4月の邦人誘拐事件に際しては、「緊急声明：邦人誘拐事件についての抗議と要望」を公表しました。この事件は市民達の努力で幸い無事に解放されましたが、その後さらに状況が深刻になっているにもかかわらず派兵が続いているために、再び誘拐事件が起こってしまいました。すぐに政府が有意味なメッセージを送らないと、今度こそ人命犠牲が出てしまいます。

イラク各地で武装勢力による襲撃やアメリカ軍の掃討作戦が続き、外国人が次々と誘拐されたり殺害されたりし続けています。サマワでも明らかに自衛隊を狙った砲撃が繰り返し起こっており、遂に10月22日には陸上自衛隊宿営地にロケット弾が着弾しました。これ以上派兵を続けていけば、自衛隊や日本人に人的犠牲が出る危険性は極めて高くなるでしょう。この事態は、イラク特措法に基づく「非戦闘地域」への自衛隊派遣と

いう政府の論理が決定的に破綻したことを表しています。

誘拐事件はこの中で起きたのですから、政府は、現在のイラクが非戦闘地域とは言えないことを率直に認め、イラクからの自衛隊撤退を最大限すみやかに決定しなければなりません。これは、論理的には、誘拐グループの要求とは無関係の法的帰結ですから、撤兵決定は「テロ」の脅威に屈したことにはなりません。

論理的には、自衛隊の即時撤退を決定すべきです。もしそれが「テロに屈する」印象を与えることが心配ならば、人命を守るために少なくとも不撤退の態度表明をすべきではありません。どうしても即時撤兵決定ができないならば、せめて「状況の悪化に伴い、自衛隊の派遣延長の中止を検討する」という声明を出すべきでしょう。これを誘拐者側に伝え、人質の犠牲を避けるようにすべきです。既に自衛隊宿营地へのロケット弾着弾が起こっていますから、これを理由としてあげれば、「誘拐者の要求に応じる撤兵」という批判を避けることが可能です。このような声明を出すことにより、今回の人質の解放を実現すべきです。

そして、12月14日に自衛隊派遣の期限が切れるので、派兵を延長せずに遅くともそこで撤兵を断行すべきです。こうすれば、人命の犠牲を回避し、違憲で違法な派兵による被害を最小限に抑えることができるでしょう。

日本政府が自国民やイラクの人々の生命を尊重し、撤兵に向けて可能な限り速やかに行動することを強く要求します。

2004年10月31日

地球平和公共ネットワーク

※イラクからの撤兵要求は、人質事件とは論理的には関わりがないので、事件の展開とは関わりなく、派兵が撤回されるまで継続します。人質の生命に万一のことがあった場合には、その根本的な原因は派兵にあることが改めて追求されなければなりません（文責 小林）。

呼びかけ人 地球平和公共ネットワーク、「平和への結集」箱根会議

天木直人（元レバノン大使）、池田恵子（山口大学）、  
上村雄彦（千葉大学COE研究員）、内山田康（筑波大学）、  
鎌田東二（京都造形芸術大学、足の裏で憲法第9条を考える会）、  
川田悦子（元衆議院議員、東京HIV訴訟原告）、きくちゆみ

(グローバル・ピース・キャンペーン)、金城睦(弁護士、平和市民連絡会)、関谷昇(千葉大学)、小林正弥(千葉大学)、嶋崎英治(三鷹市議会議員)、高田 健(許すな!憲法改悪・市民連絡会)、千葉眞(国際基督教大学)、田島隆(ひとミュージアム館長)、西田清志(足の裏で憲法第9条を考える会)、久松重光(「派兵は決定的違憲」市民訴訟の会・山梨)、平野慶次(日本ホリスティック教育協会)、平山基生(沖縄などから米軍基地をなくす草の根運動)、吉川ひろし(千葉県議・無所属市民の会)

内閣総理大臣 小泉純一郎 殿

私は、2004年10月31日の、「平和への結集」第2回シンポジウムで公表された、緊急声明「邦人誘拐事件に際しての撤兵要求」に賛同し、違憲で不法なイラク派兵に反対し、可能な限り速やかに撤兵することを要求します。

※派兵が撤回されるまでイラク撤兵要求署名として使わせて頂きます。